われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。

いさお新聞

発行所　〒703-8272
岡山市中区奥市3-22　岡山県遺族連盟
電話代表　086-271-7175
ＦＡＸ　086-271-4815
郵便振替岡山01230-9-3532
発行責任者　岸本清美
編集責任者　豊島始男
印刷所　西尾総合印刷株式会社
定価（郵税共）年額1,200円
ホームページ http://izoku-okayama.jp/

戦没者を追悼し平和を祈念する日
国会議員九十五人が靖國神社に参拝

超党派の国会議員でつくる「みんなで靖國神社に参拝する国会議員の会（会長・尾辻秀久参議院議員）」は、戦没者を追悼し平和を祈念する日である八月十五日早朝、衆参両院国会議員九十五人がそろって靖國神社に昇殿参拝を行い英霊に感謝の誠を捧げた。また、会とは別に自民党の谷垣禎一総裁、大島理森幹事長、安倍晋三元総理や、石原慎太郎東京都知事も参拝された。

しかし、菅内閣の閣僚・副大臣・政務官は内閣の参拝自粛方針の下、春の例大祭と同じく一人も参拝しなかった。

菅内閣にご英霊の声
遺族の願い届かず

靖國神社に参拝する古賀日本遺族会会長ら「みんなで靖國神社に参拝する国会議員の会」（8月15日：靖國神社）

先の大戦の終結から六十五年、曇り空ながら汗が滴り落ちる様な蒸し暑い日となった「戦没者を追悼し平和を祈念する日」である八月十五日の午前八時、「みんなで靖國神社に参拝する国会議員の会」の国会議員九十五人（本人四十一人、代理五十四人）が、そろって靖國神社に昇殿参拝を行った。

しかし、菅直人総理をはじめ閣僚たちは、ご英霊の声なき声に聞く耳を持たず、遺族の願い（菅総理への要望書別掲）など全く意に介さなかった様である。政権交代前から予想された様に、参拝自粛方針の下、春の例大祭と同じく総理をはじめ閣僚の参拝はなかった。

長年続いた自民党政権時代から、遺族会は政権与党に対し、靖國神社国家護持、総理の公式参拝の実現、参拝の定着等々、その要望のハードルを下げながらも、戦没者ご英霊に対する当然の義務の遂行を国に求めてきたが、それでも国の軸足が定まることはなく、戦没者遺族は大いに失望し続けた。

そして、昨年の衆議院選挙の結果、民主党に政権が代わり、鳩山内閣に続いて菅内閣が誕生したが、靖國神社に代わる戦没者追悼施設の建設構想を語ったり、「学べば学ぶほど（沖縄の海兵隊）が連携し抑止力を維持していることがわかった」と、首相になってやっと理解したと恥ずかしげもなく述べた鳩山前総理や、「（所謂）A級戦犯が合祀されている問題などから首相や閣僚の公式参拝には問題がある」「（小泉元総理の靖國参拝を念頭に）そのことによって、アジアの国々との政治レベルの交流が非常に滞っている」と、我が国の戦没者の慰霊追悼より隣国への配慮を優先する菅総理に、ご英霊や遺族の声が届くことはないのか。

今現在の価値観、自分たちの都合で先人たちの苦労を断罪し、国の誇りを貶めることを生きがいにしている為政者たちを念頭に、「日本のことを考えないやつらのことを話しても仕方がない。本当にご英霊も浮かばれない」と、靖國神社へ参拝後、記者団に語った石原東京都知事の言葉は、戦没者遺族にとって重く辛い言葉である。

為政者が謝罪すべきは戦没者ご英霊と遺族に対してである。永遠に和解する意志のない隣国に謝罪し続けるくらいなら、靖國神社の社頭で「今日までの無礼をお詫びし大いに反省いたします」と、ご英霊に頭を下げ謝罪してほしいものである。ご英霊はきっと許してくれるだろう。

――・――

「戦没者を追悼し平和を祈念する日」である八月十五日に参拝された九十五人及び別途参拝九人の衆参両院議員は次のとおり。（党派別・敬称略）

議員本人参拝

▼衆議院　二十人

【自民党】逢沢一郎、安倍晋三、稲田朋美、井上信治、大島理森、梶山弘志、小泉進次郎、下村博文、**古賀誠**、高市早苗、谷垣禎一、田村憲久、中谷元、西野陽、古屋圭司、山口俊一、山本拓

【民主党】奥野総一郎、川口浩、木内孝胤、沓掛哲男、長尾敬、中津川博郷、松原仁、柳田和己、渡辺義彦

【たちあがれ日本】平沼赳夫

【無所属】衛藤征士郎

▼参議院　二十一人

【自民党】有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、岩城光英、宇都隆史、岸信夫、熊谷大、佐藤信秋、佐藤正久、西田昌司、浜田和幸、藤川政人、**水落敏栄**、三原じゅんこ、山谷えり子

【民主党】芝博一、羽田雄一郎、前田武志

【みんなの党】江口克彦

【たちあがれ日本】中山恭子

【国民新党】森田高

【無所属】尾辻秀久

議員代理参拝

▼衆議院　三十六人

【自民党】阿部俊子、甘利明、伊吹文明、今村雅弘、江藤拓、大村秀章、小里泰弘、金子一義、金子恭之、金田勝年、木村太郎、小池百合子、後藤田正純、佐田玄一郎、塩崎恭久、柴山昌彦、高木毅、武部勤、田中和徳、棚橋泰文、谷川弥一、田野瀬良太、徳田毅、中川秀直、西村康稔、額賀福志郎、町村信孝、松本純、村上誠一郎、山本公一、山本幸三、山本有二

【民主党】大西孝典、川口博

【たちあがれ日本】園田博之
【無所属】鈴木宗男
▼参議院　十八人
【自民党】青木一彦、衛藤晟一、大家敏志、岡田広、関口昌一、谷川秀善、中西祐介、野村哲郎、松村祥史、松村龍二、松山政司、山崎正昭、山本一太、山本順三
【たちあがれ日本】片山虎之助、藤井孝男
【無所属】大江康弘、長谷川大紋

内閣総理大臣の靖國神社への参拝のお願い

菅直人内閣総理大臣におかれましては、総理大臣ご就任、誠におめでとうございます。また、戦没者遺族に係わる諸問題につきまして、平素より格別のご高配を賜り衷心より感謝申しあげます。

さて、靖國神社には、かつての大戦で国の安泰と平和、そして家族の幸せを願って尊い生命を国家のために捧げられました二百四十六万余の御霊が祀られておりますことは、ご承知のとおりであります。しかし、平成十八年八月以降、内閣総理大臣の靖國神社参拝は途絶えており、戦没者遺族として誠に残念であります。

戦没者遺族の大多数は肉親の死を看取ることなく、遺骨すら受領していません。戦没者はたとえ肉体はくちても己の御霊は靖國神社に帰ることを固く信じて散華されました。また、遺族も御霊は靖國神社に必ず帰っておられると信じて今日まで慰霊追悼を行って参りました。

そうした諸霊が眠る靖國神社に、国の代表である内閣総理大臣が参拝し、靖國の御霊に敬意を表し感謝することは極めて当然であり、自然なことであります。現に世界のいずれの国においても、国家のために犠牲となられた戦没者は、その国の責任において手厚く祀られております。

しかしながら、我が国では内閣総理大臣の靖國神社参拝は、ひとえに総理の決断に左右されているのが現状であります。さらに、政府与党となった民主党が掲げる政策には、靖國神社に代わる新たな国立の戦没者追悼施設建設が盛り込まれております。

靖國神社こそが我が国唯一の戦没者追悼施設と考えている私たち戦没者遺族にとって、そのことは大きな衝撃であり、戦没者遺族の心情を顧みない民主党の政策に深い悲しみと失望を覚えます。

日本には先祖を敬うという良き伝統、文化があります。その意味からも百四十年の歴史と伝統のある靖國神社こそ、世界の恒久平和を祈念する我が国唯一の追悼施設であり、仮に新たに国立の追悼施設が建設されれば靖國神社の存在そのものを否定するようなことにもなりかねず、私たち戦没者遺族は絶対容認することはできません。

菅内閣総理大臣におかれましては、日本の良き伝統、文化にのっとり、外国の干渉などに屈することなく、国を代表して堂々と靖國神社に参拝し、英霊に尊崇と感謝の誠を捧げていただきますよう心からお願い申しあげます。

平成二十二年七月三十日

財団法人　日本遺族会
会長　古賀　誠

内閣総理大臣
菅　直人　殿

天皇皇后両陛下をお迎えし 第四十八回全国戦没者追悼式が 挙行される

「戦没者を追悼し平和を祈念する日」である八月十五日、東京・日本武道館に天皇皇后両陛下をお迎えし、政府主催による第四十八回全国戦没者追悼式が執り行われた。式典には全国からの遺族代表約四千八百人、菅直人総理をはじめ各界代表に千二百人が参列し、先の大戦で戦禍に倒れた軍人・軍属約二百三十万人、民間戦災者約八十万人の冥福を祈り世界平和希求を誓った。

岡山県から戦没者遺族八十八人参列

先の大戦の終結から六十五年目の夏。連日、猛暑が続く中で八月十五日の「戦没者を追悼し平和を祈念する日」を迎えた。

岡山県参列遺族代表は、全国各地から到着したご遺族と共に式場である北の丸公園の日本武道館に入場。定刻の午前十一時五十分、厚生労働省職員のアナウンスにより全員起立し天皇皇后両陛下をお迎えした。

国家斉唱に続いて、菅直人内閣総理大臣が壇上に進み、「三百十万余の方々の無念を思うとき、悲痛の思いが尽きることなく込み上げてきます。苦難を乗り越えてこられたご遺族の皆様のご労苦に深く敬意を表し、世界の恒久平和の確立に全力を尽くすことをお誓い申し上げます」と式辞を述べた。しかし、「とりわけアジア諸国の人々に対し多大の損害と苦痛を与えました」と再び加害責任にも言及、平成五年の細川政権から続いている「反省と謝罪」を繰り返すこととなった。

天皇皇后両陛下が中央祭壇にお進みなり、正午の時報を合図に戦没者の御霊に一分間の黙祷を捧げた後、天皇陛下が「先陣に散り戦禍に倒れた人々に対し心から哀悼の意を表し、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります」と〝おことば〟を述べられた。

そして衆参両院議長、最高裁判所長官の追悼の辞に続いて、ビルマ（現ミャンマー）で父を亡くした鳥取県倉吉市の政門初恵さんが「悲惨な戦争の苦悩を身をもって体験した私たち遺族は、この悲しい歴史を絶対繰り返さないことをここに固く誓います」と、追悼の言葉を捧げた。

次いで、菅総理をはじめ各党・各界代表に続いて全国都道府県遺族代表が献花を行い、岡山県からは岩国海軍病院で弟さんを亡くされた岡山市南区曽根の沼野豊さん（85歳）が岡山県参列者を代表して白菊を祭壇に捧げ、御霊の冥福をお祈りし平和希求をお誓いし

参列された岡山県遺族代表の皆さん

た。

また、岡山県護國神社では午前十時三十分から〝終戦の証書奉戴・日本興隆祈願祭〟が開催されたほか、夜には〝萬燈みたま祭〟が執り行われ、奉納堤灯約千個が掲げられた境内では岡山市連合婦人会による盆踊りが奉納され、国難に殉じたご英霊をお慰めした。

参列された岡山県遺族代表の皆さん

追悼の辞

全国戦没者遺族代表
（鳥取県倉吉市）
政門初恵

本日ここに、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、各界の代表をはじめ全国各地から幾千の遺族代表が寄り集い、全国戦没者追悼式が厳粛に執り行われるにあたり、戦没者遺族を代表して謹んで追悼の言葉を申し上げます。

今日この日は、先の大戦が終わりを告げ平和な日本が甦ったあの終戦の日であり、特に今年は戦後六十五年という節目の年であります。過ぎし大戦において、祖国の安泰を願い、絶ち難き恩愛の絆を振り捨てて戦場に散り、戦禍に倒れ、また戦後、帰国を待ち望みながら一身を犠牲にされましたご英霊の皆様に思いを馳せる時、万感胸に迫るものがございます。

顧みますと、私たち戦没者の遺族が歩んできた道は、癒し難い苦悩と長い長い試練の歳月でありました。物心両面に亘る苦境は言語に絶するものがありましたが、ご英霊の皆様の崇高な精神を引き継ぎ、誇りを忘れず、互いに助け合い励まし合いながら、英霊顕彰、国家の繁栄、更に家運の再興のため一生懸命努力してまいりました。

戦後、日本は平和で豊かな文化国家として躍進を続けてまいりましたが、今日の平和と繁栄は諸英霊の尊い礎の上に築かれたものであることを、私たち日本国民は深く胸に刻み決して忘れてはなりません。政府が八月十五日を「戦没者を追悼し平和を祈念する日」と制定された所以もまたここにあり、誠に意義深いものと思います。

本日は来賓多数のご参列を仰ぎ、厳かに追悼式を挙行いただき、御霊たちは申すに及ばず私たち遺族にとりましても試に意義深く無上の慰めであり、感謝と感激の極みでございます。ここに遺族一同に代わりまして衷心より厚くお礼申し上げます。

祖国の永遠の平和と発展とを念じて、その尊い生命をなげうたれた御霊たちは、倦むところなく、常に我が日本をお守りくださることを固く信じますとともに、悲惨な戦争の苦悩を身をもって体験した私たち遺族は、この悲しい歴史を絶対繰り返さないことをここに改めて固くお誓いいたします。

結びに、御霊たちのご冥福とご遺族各位のご多幸とご健勝を心から祈念し、併せて、御霊たちがこよなく愛した我が日本の限りない発展を心から念じ、追悼の言葉といたします。

ご支援に感謝

日本遺族会常任顧問
参議院議員
水落敏栄

ご遺族の皆様には、お元気でお過ごしのことと拝察いたします。

全国各地では大雨による災害が発生し、死者、行方不明者を出す惨事となっております。犠牲になられた方々のご冥福と、被害にあわれた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

さて、過日行われました参議院選挙におきまして、全国のご遺族皆様のご支援をいただき、二度目の当選を果たすことが出来ました。衷心より感謝を申し上げます。

この度の選挙は野党として臨む初めての国政選挙となり、大変厳しい状況下でしたが、お蔭様で当選させて頂くことが出来ました。加えて自民党は五十一議席を獲得させていただきました。選挙区でのご支援に対しても心よりお礼申し上げます。

まさに遺族会の存続をかけた戦いでありましたが、二度と私たちのような戦没者遺族を出さない為に、遺族会が平和の語り部として後世に戦争の悲惨さ平和の尊さを語り継ぐという社会的意義を表示した戦いであったと認識しております。この上は皆様に頂戴したご支援にお応えすべく、戦没者遺族の代表として、これからもご遺族皆様の声を国政に届けて参ります。

そして懸案事項である総理閣僚の靖國神社参拝、国立の戦没者追悼施設の建設阻止をはじめ、妻の特別給付金、特別弔慰金の継続など、ご遺族皆様の処遇の改善に向け全力を尽くす覚悟でございますので、引続きのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

暑さ厳しき折、ご遺族皆様にはくれぐれもご健康にご留意の上、ご健勝にてお過ごしいただきますよう祈念いたしまして、私の挨拶といたします。

遺児による慰霊友好親善事業

洋上慰霊ほか6地域の参加者募集

平成三年から日本遺族会が政府の補助・委託を受けて実施している「戦没者の遺児による慰霊友好親善事業」は、遺児に対する慰藉の一環として、父等を国に捧げた遺児が一度は亡き父等の眠る地に赴き心ゆくまで慰霊追悼を行うと共に、現地の人々との親善を深めることを目的とした事業です。

平成二十二年度は十五地域が計画され、八月初旬に実施された旧満州地域を皮切りに、既に全国各地から多くの遺児が各戦域を訪問しています。

日本遺族会では引き続き、洋上慰霊をはじめ別掲の六地域への参加者を募集しています。是非この機会に父等の最後の地を訪問されます様ご案内申し上げます。実施要領は次のとおりです。

▼実施地域等　別掲のとおり。

▼参加費　八万円
但し、自宅から集合場所までの国内交通費及び帰国時に交通機関等の関係により帰宅できない場合の宿泊費等は個人負担となります。

▼応募資格　実施地域（周辺公海上を含む）で父等を亡くした戦没者の遺児。

▼お申し込み先　県遺族連盟まで。

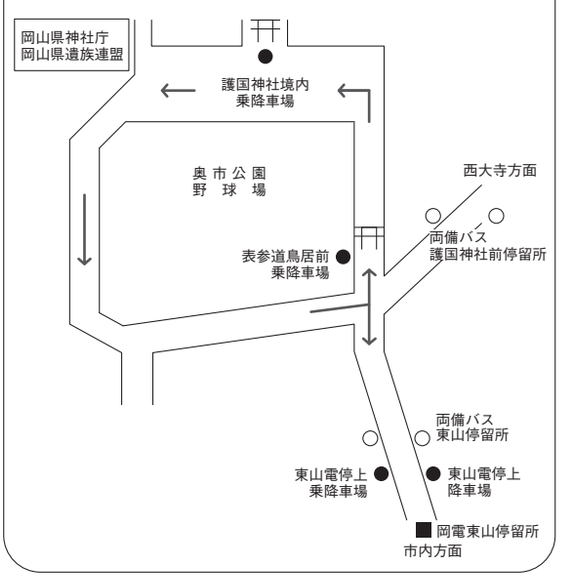
実施計画概要

	実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
		主な訪問予定地		
1	ソロモン諸島	平成22年10月28日㈭～11月４日㈭ 7泊８日	35人	平成22年９月13日
		A班＝ガダルカナル島、ツラギ島 B班＝中部ソロモン諸島（ニュージョージア島ムンダ、コロンバンガラ島ビラ）		
2	ボルネオ・マレー半島	平成22年11月10日㈬～11月19日㈮ 9泊10日	40人	平成22年９月27日
		A班＝コタキナバル、ケニンゴウ、ミリ、ブルネイ、ラブアン、マレー半島 B班＝シンガポール、バンジェルマシン、バリクパパン、タラカン、タワウ、サンダカン		
3	ミャンマー	平成22年11月29日㈪～12月８日㈬ 9泊10日	40人	平成22年10月15日
		A班＝ヤンゴン、ペグー、トングー、メークテーラ、サラワジ B班＝ミートキーナ、マンダレー、アキャブ		
4	マリアナ諸島	平成23年２月２日㈬～２月８日㈫ 6泊７日	40人	平成22年12月15日
		A班＝グアム島、サイパン島 B班＝サイパン島、テニアン島		
5	マーシャル諸島	平成23年２月12日㈯～２月20日㈰ 8泊９日	20人	㊟ 平成22年10月12日
		マーシャル諸島（クエゼリン、ルオット、マジュロ）		
6	洋上慰霊	平成23年３月５日㈯～３月16日㈬ 11泊12日	300人	平成22年12月５日
		沖縄方面、台湾方面、バシー海峡、フィリピン沖、レイテ沖、小笠原方面の各海域		

○実施時期の日数には、東京都内等の集合日が含まれます。
○実施時期、日程等については、相手国の事情等により変更や取り止めになる場合があります。
○㊟のマーシャル諸島は、入域許可取得のため実施日の約４カ月前が締切りとなります。

無料送迎バス運行経路

●印／無料送迎バス乗降車場



急　告

平成22年度県連盟事業として参加者を募集しています東部ニューギニア地域慰霊巡拝は、現地（パプアニューギニア）治安悪化のため中止いたします。今後、巡拝地域を再検討し募集を行いたいと存じますのでご了承願います。

平成22年９月吉日

ご　遺　族　様

岡山県戦没者顕彰会会長　**岡　崎　　豊**

謹啓　初秋の候　ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、恒例の岡山県戦没者秋季慰霊祭を下記により執り行いますので、万障お繰り合わせのうえご参列下さいますようご案内申し上げます。
なお、東山電停より護國神社の間を、無料バスにより送迎を行いますので、多数ご参列下さいます様お願いいたします。　敬具

記

１．日　　時　10月５日㈫　10時から（雨天にかかわらず執行）
※10月６日㈬は護國神社秋季慰霊大祭が10時から執り行われます。

２．祭　　場　岡山市中区奥市3－21　岡山県護國神社

３．協賛行事

10月５日	10月６日
備中神楽　華道展	備中神楽　詩吟
吉備舞	吉備舞　華道展
詩吟舞	銃剣道

１．自家用車駐車場はありません。電車・バス等をご利用下さい。
２．電車・バス等でご参拝の方は、無料送迎バスを運行（約５分間隔）していますので、ご利用下さい。
　＊運行区間　東山電停～表参道鳥居前～護國神社間
　＊運行時間　午前９時～12時
３．当日参列のご遺族１人に１個、記念品を差し上げます。
４．ご希望の方には後楽園・博物館入場券を差し上げます。
５．参列に際しましては、慰霊祭終了まで会場にご臨席いただきます様お願いいたします。

遺児巡拝

追悼のことば

倉敷市亀山　赤木　弥昭

お父さん、やっと念願叶って会いに来ることができました。

この近くの海で、お父さんたちの乗っていた輸送船が行方不明になりました。生存者は確認できず、全員戦死したのは確かだということでした。だから、還ってきたのは白木の箱だけでした。

若くして戦争未亡人となった母は、農作業に汗を流して私たちを育てあげました。長い道のりだったと思いますが、戦後六十四年目の昨年九月、百歳でお父さんのところへ旅立ちました。お父さん、天国で母と昔話をしていますか？

お父さんと別れたのは四歳位で想い出は多くありませんが、当時は食糧増産の時代、母は朝から晩まで野良で働きどおしで子供と遊ぶ暇など無かったように思います。お父さんが出征した時、乳飲み子だった次男の昭年も二十年ほど前、四十七歳の若さで天国に旅立っています。

僕は、お父さんの跡を継いで田舎で百姓をやる覚悟でしたが、時代の変化に勝てず、四十年ほど前に家族全員で倉敷に移り住みました。お父さんが育った田舎は過疎化が進み、世帯は減少して高齢者ばかりになっています。先祖伝来の田畑を草にして申し訳ありません。お許し下さい。

僕はお父さんの若い姿しか知りません。亡くなった人は何時迄も年をとらないと云いますが、僕はもう七十歳を越し、いい爺さんと思われるでしょう？娘二人も嫁いでしまい寂しくなりましたが、幸い嫁ぎ先が近いのでよく訪ねて来てくれます。色々、身の上話をしました。お父さん、どうか安らかにお眠り下さい。

平成二十二年三月七日

あとがき―

父が乗船していた白馬丸は昭和十九年十二月七日、レイテ島西方海岸で敵機の爆撃を受け沈没、父は船と共に海深く沈みました。目の前に広がる静かで美しい海が血の海だったとは想像できません。現地ガイドさんから当時の戦況を詳しく説明いただき、あらためてあの戦争の激しさを思いながら父の眠るレイテ島ビリアバの海岸で追悼の言葉を捧げました。

故郷に家族を残し死んでいった父のことを思うと涙が止まりませんでした。こんな悲惨な時代があったことを決して忘れないように次の世代に語り継ぎ、二度とこのような間違いを起こさないようにしなければなりません。

フィリピン訪問団に参加された岡山県の皆さん。左から赤木さん、バレテ峠で父上を亡くされた原田弘子さん、原田民子さん、笠原富女さんの姉妹
（3月9日：カリラヤ「比島戦没者の碑」での全戦没者追悼式に於いて）

遺児の日中友好訪問団に参加して

井原市笹賀町　竹井　龍盛

この度、戦没者遺児による日中友好訪問団に参加させて頂き、亡き父の最後の地であります旧満洲国、現在の中華人民共和国の東北地区を八月四日から十二日にかけて巡拝いたしました。長年の願いを果たすことがやっとできました。

私たちの訪問団はA班（23名）とB班（24名）の二班に分かれ、A班に入った私は、北京からハイラル、チチハル、北安、ハルピン、牡丹江、シンヨウと九日間、団員と行動を共にしましたが、日本遺族会のご配慮により、父母らが亡くなった場所で慰霊祭をして頂き感謝の気持ちで一杯です。親を想い、子を想いながら無念にもこの地に散った父や多くの戦死者のことを思うと、胸が熱くなり涙が流れてきました。

父は〝満洲開拓団〟として日本を離れ、その後、現地招集で戦地に向かい戦死しました。私が二歳の頃で、私は父の顔や姿について何も覚えていません。「お父さん」と呼んだこともありません。

父が何故、開拓団に参加したのか今まで全くわかりませんでした。しかし今、この地で、この大地を見て父の気持ちが初めてわかりました。見渡す限りのトウモロコシ畑や大豆畑、三百六十度、山らしきものは見当たらず、その雄大さに驚きと感動を覚えました。

所々に隣接区分か暴風止めなのか？ポプラや松の木が筋条に植林されており、何km先に二～三十軒の集落がポツンポツンと見えます。古い小さな平屋建の家は何処もレンガ造りで、屋根には必ず煙突が二本ありました。しかし学校などは見当らず、子供たちは一体どうしてるのかなと頭をかしげてしまいます。

機械や設備は古いままで、生活状況は日本の四十年前を思い出すようですが、やはり中国は広大です。一直線の広い道路は雄大そのものです。都市と農村部の格差を感じましたが、近年の中国の発展は著しく、各地で道路やビルの建設工事などを行っていました。この中国経済の活況を目の当たりにすると、十年後、二十年後には社会基盤の充実が図られると思いました。

案内をいただいたガイドさんの話によれば、この東北地区は九月頃から次第に寒くなり最低気温はマイナス四十度。そして五月頃から農作業に取り掛かるとのことですが、昨年の夏は最高四十七度まで気温が上がったそうです。日本の天候も最近おかしいですが、こちらの天候も最近おかしいとガイドさんも話しておられました。自然を壊し、戦争で平和を壊す、すべて人間の仕業です。

中国の方々にお世話になり親切にして頂きました。今回の訪問で、言葉が通じなくても心が通じれば仲良くなれることを確信しました。どうか、この日中友好訪問を基に互いに戦争の無い世界になればと思います。私の人生も残り少なくなりましたが、これからの次世代を担う家族に平和の大切さを語り継がなければなりません。機会をつくって、また中国を訪問したいと思っています。

父の慰霊祭に臨んだ竹井さん
（8月8日：北安の宿舎で）

平成二十三年度版 「靖國カレンダー」

英霊にこたえる一億国民のこころを結集しよう

東京・九段の靖國神社には、わが国の危急存亡に際して、国家国民のために一命を捧げられた二五〇万もの戦没者英霊が祀られています。

「靖國カレンダー」は、この尊い英霊の真心に思いをいたし、私たち国民の一人ひとりが感謝の誠を捧げる輪を広げる国民運動の一環として、昭和五十一年以来刊行しています。戦後も六十余年が経過し、次代を担う青少年の皆さんにも、英霊とは、靖國神社とは何であるのか、また、わが国が明治維新以降、直面した戦争・事変の正しい歴史を伝える教材になるよう企画しています。

「靖國カレンダー」は、本会の運動にご賛同いただき、維持会費を納められた方に贈呈し、維持会費の中から毎年、靖國神社へ奉納させていただいております。是非「靖國カレンダー」を家庭に掲げてご活用いただきます様、遺族会の皆様方のご協力をお願いいたします。

英霊にこたえる会
岡山県本部
会長　岸本　清美

【靖國カレンダーの内容】

＊ご英霊にまつわる写真と逸話を掲載しています。
＊大きさは、縦52cm×横36cm

【維持会費】 一部　五〇〇円（別途送料が必要です）
※各支部で一括注文される場合は一部四〇〇円です。

【お申し込み先】

カレンダー送付先の住所、氏名、電話番号、注文部数を左記県本部までご連絡下さい。十一月初旬頃までに送付いたします。

〒七〇三―八二七二　岡山市中区奥市三―二一　岡山県護國神社内
「英霊にこたえる会岡山県本部」
電　話　〇八六―二七二―三〇一七
ＦＡＸ　〇八六―二七二―三〇一六

謹みて靖國神社の神霊に申す

陸軍憲兵軍曹　近藤　巖　命

昭和二十年八月十九日
東京九段靖國神社にて責任自決
愛知県出身　二十二歳

謹みて靖國神社の神霊に申す

本日復員の命下れり。皇國の必勝を信じ、護持の大任を完（まっと）ふされし靖國の神霊に何と申し上ぐべきや。只、吾が責務の完（まった）からざるを思ひ、此処に一死以て詫びんとす。

陸軍憲兵軍曹　近藤　巖

遺言

謹みて御両親様に申し上げます。

本日復員の命下り、帰郷の余儀なきに至りました。真に無念に存じます。多くの戦友に先立たれ、軍人の本分を完（まっと）ふせず、今更何んで帰られませう。巖の胸中、お察し下され。

武人として、又、自己の信念の大道を進むべく、此処に死を決します。お許し下され。

生を受けてより此の方、二十四年有余。此の間の御両親様の御辛労、深く深く感謝致します。後に残りし弟二人、立派に御薫陶の上、皇國護持の為に尽さしめられたくお願ひ申し上げます。

折角御自重遊されたく。

昭和二十年八月十八日

巖

御両親様

（原文のまま）

【平成二十二年八月　靖國神社社頭掲示】

訃報

華岡政野氏

元岡山県遺族連盟婦人部長
元倉敷市倉敷遺族連合会婦人部長

戦没者の妻として長年英霊顕彰並びに遺族処遇改善運動にご尽力をいただいた元岡山県遺族連盟婦人部長の華岡政野氏が八月八日に逝去（享年一〇四歳）されました。ご生前のご功績に心から感謝申し上げますと共に謹んでご冥福をお祈りいたします。

遺族会の動き

平成二十二年九月行事表

1日　津山市遺族連合会護國神社参拝並びに研修旅行（山口県方面）一泊
7日　中国・四国ブロック遺族会会議（鳥取県）一泊
16日　高梁市成羽地区遺族会護國神社参拝（県護國神社）
17日　新公益法人への移行に関する研修会（九段会館）
20日　瀬戸内市遺族連合会女性部会議（長船町中央公民館）
25日　「敬老の日」県連盟老人福祉事業／百歳ご遺族お祝い、身寄りのない父母・一人暮らしの妻慰問（県下）
26日　岡山市瀬戸遺族連合会護國神社参拝及び研修旅行（東京・岐阜方面）
総社市遺族連合会護國神社参拝並びに研修旅行（千葉県方面）一泊

平成二十二年十月行事表

1日　浅口市戦没者追悼式（浅口市中央公民館）
2日　津山市戦没者追悼式（津山総合体育館）
5日　県戦没者秋季慰霊祭（県護國神社）
6日　県護國神社秋季慰霊大祭（県護國神社）
12日　県連盟女性部平成二十二年度第一回研修会（神戸市内を予定）
27日　笠岡市陶山地区戦没者慰霊祭（県護國神社）

皇居内濠を望む静かな九段
ご婚礼／宴集会／ご宿泊／お食事／大ホール

※ご遺族様には、特別割引がございます。
●シングル……￥7,140～
●ツイン……￥12,600～（税込）
URL http://www.kudankaikan.or.jp

九段会館
〒102-0074　東京都千代田区九段南1-6-5
☎03（3261）5521
●地下鉄　東西線・新宿線・半蔵門線（九段下駅）徒歩1分
●JR東京駅より（車）5分